



議会だより



令和4年9月定例会・臨時会

あらまし・決算状況	2
予算決算審査特別委員会・決算の意見	4
議案審議	6
陳情・人事案件・福島第一原発研修	8
臨時会・一般質問目次	10
一般質問 4人が登壇	12
委員会レポート・各議長杯の結果	16
わたしたちの町（翁島小・長瀬小）	18

はしご車による救助訓練
町総合防災訓練



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



Google Play

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

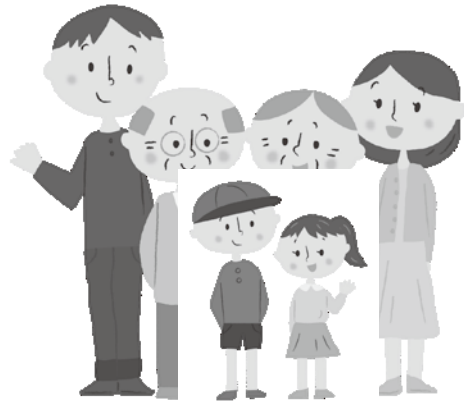
あらまし

9月定例会は、9月6日から15日まで開催されました。町長から提出された議案は、令和3年度決算認定4件、4年度補正予算12件、条例の一部改正4件、工事請負契約1件、財産の取得1件、過疎地域持続的発展計画の一部変更、人事案件3件、人権擁護委員候補者の推薦に係る案件1件であり、すべて原案のとおり、認定・可決・同意しました。

一般質問は4人の議員により行われました。

令和3年度決算を認定

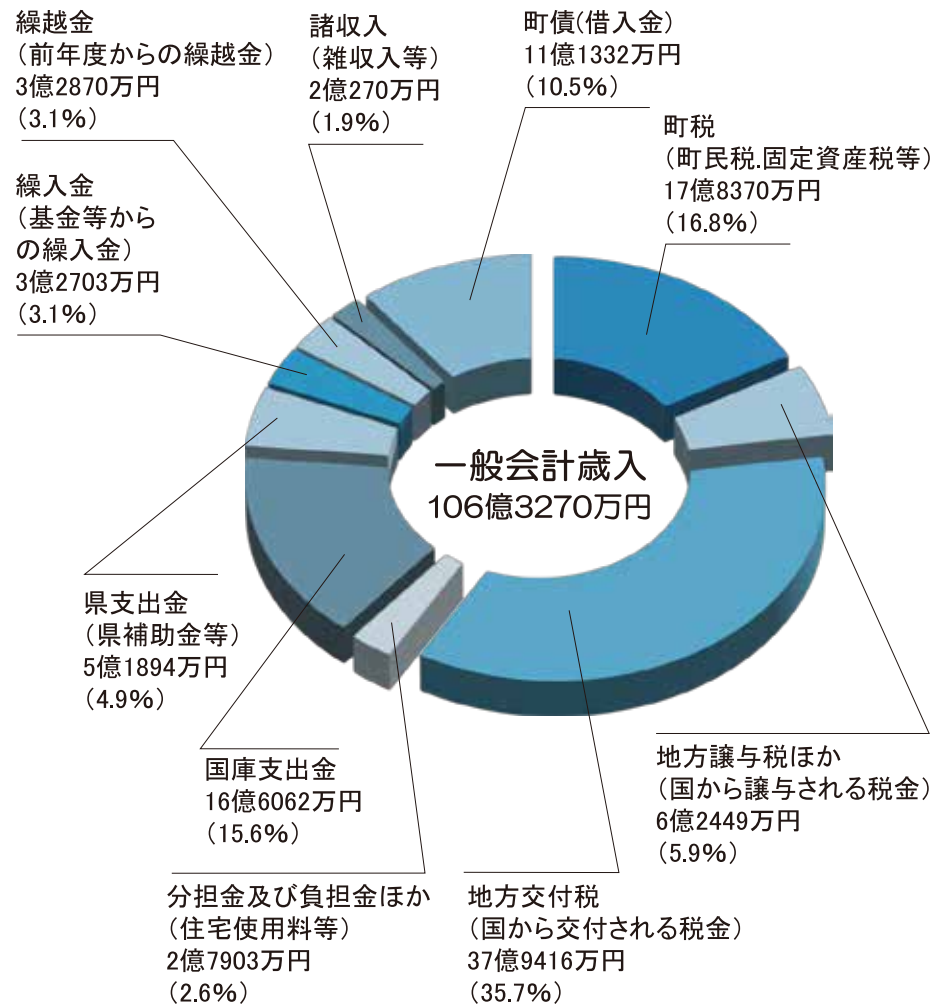
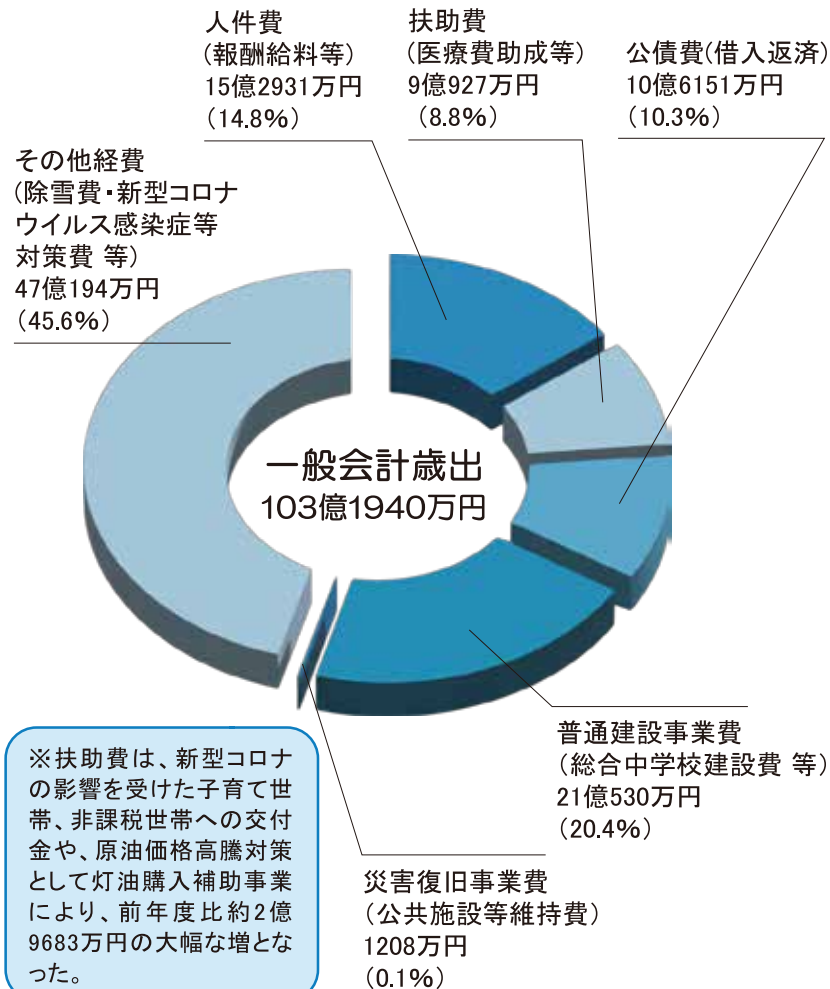
9月定例会



町民一人当たり
778,119円を
使いました。
(前年比 11,462円増)

議会費	7,587円
総務費	97,199円
民生費	126,508円
衛生費	42,487円
農林水産業費	42,367円
商工費	37,306円
土木費	105,796円
消防費	29,317円
教育費	208,599円
災害復旧費	911円
公債費	80,041円

※令和4年3月末人口13,262人で算定



財政力指数とは？

1に近く1を超えるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率とは？

財政構造の弾力性を判定する基準で、75%以下が望ましいとされている。

実質公債費比率とは？

歳入に対する公債費の占める割合で、25%で早期健全化に該当するとされている。

将来負担比率とは？

一般会計の負債が一般会計の標準的な年間収入の何年分であるかを表す割合で、350%で早期健全化に該当するとされている。

令和3年度末 町債 残高

一般会計は88億2,041万円 (前年比 8,530万円増)

※町債→大きな事業をするために借り入れるお金のこと。
※特別会計については、下水道3特別会計が企業会計に移行した。

区分	令和3年度	令和2年度	平成元年度
財政力指数	0.380	0.391	0.394
経常収支比率	85.0	89.5	90.6
実質公債費比率	10.3	10.7	10.7
将来負担比率	35.6	46.8	54.0

令和3年度 会計別決算額

会 計		歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計		106億3270万円	103億1940万円
特別会計	国民健康保険	15億6198万円	15億5180万円
	後期高齢者医療	1億8185万円	1億8168万円
	介護保険	18億7201万円	17億6323万円
病院会計	収益的収支	7073万円	7096万円
	資本的収支	1652万円	1652万円
水道会計	収益的収支	3億5632万円	3億2522万円
	資本的収支	1660万円	2億2410万円
下水道会計	収益的収支	6億7059万円	7億3523万円
	資本的収支	2億5827万円	4億4666万円

※単位未満の端数切り捨て。

※財産区特別会計の決算額については省略。

議長を除く12人の委員で、令和3年度決算を4件、令和4年度補正予算算10件を審査しました。

令和3年度決算

【主な質疑】

一般会計

歳入

《町税》

問 固定資産税の収入割合が令和3年度は非常に高いがその要因は。

答 新型コロナウイルス特例措置の徴収猶予が令和2年度で終了したことが大きい。また、中小事業者等の事業用家屋等の課税標準の特例措置が適用され、軽減となった事業者にとっては納税の後押しとなったことの二つの要因によるもの。

問 固定資産税の現年度分の不納欠損が発生する事由は。

答 倒産による換価財産無しが不納欠損の約9割を占める。

《地方交付税》

問 需要額と収入額の差で2億8千万円も増えた要因は。

答 昨年度は新型コロナウイルス感染症対策に係る国の補正予算第1号に伴う臨時経済対策費として追加の交付が1億8千万円ほどあった。

《諸収入》

問 教育費貸付金の収入未済額が現年度、過年度合わせて260万円ほどあるが、状況は。

答 現在貸付者はおらず返還者が16名。月1万円を6年間返済いただくが、月1万円が返済できず分納となると、過年度分を優先し現年度に未納が発生する。

歳出

《民生費》

問 老人福祉費の繰出金に不用額が2100万円ほどあるがこの内容は。

答 新型コロナウイルスの影響で介護サービスを利用する方が医療に回ってしまい、介護給付費が見込みより下がってしまったため。



問 障害者福祉費の扶助費の不用額について、コロナの影響を受けた障害児関係の支援は、施設利用によらない部分の支援はあったのか。

答 放課後等デイサービスは通常学校が終わってからの利用であるが、休校となったため午前中から受け入れを行ったが利用者がなかった。

《衛生費》

問 予防費の委託料の不用額の内容は。

答 新型コロナウイルスワクチン接種1、2回目分で約1400万円、インフルエンザワクチンは接種控えにより見込みより1000人少なく240万円、成人男性対象の風しん抗体検査と予防接種で100万円の不用額となった。

《商工費》

問 商工業振興費の負担金及び補助金の不用額の内容は。

答 中小企業経営長期安定資金制度の利子補給金等で346万円、町民応援商品券交付事業で、商品券が所在不明等で戻ってきた分258万円が主なもの。

問 風評被害対策費の委託料の不用額は。

答 教育旅行支援事業で651万円、外国人誘客支援事業で199万円、プレミアム付き旅行券事業を合わせ931万円となった。

《土木費》

問 道路維持費の委託料2700万円の不用額は。

答 ほとんどが民間除雪委託料。昨年度は雪が多く3月に9千万円ほど増額補正したが、2月3月に思ったほど降雪がなかったため。

令和4年度補正予算

一般会計

歳入

《町税》

問 軽自動車税の種別割は増額だが予算とのちがいは。

答 7200円の旧税率車両が減少、1万8000の新税率車両が増加。また7200円の旧税率車両で13年を超える1万2900円の重課税車両が増加した。

《財産収入》

問 利子及び配当金で株道の駅猪苗代配当金は収益が上がっての配当金か。

答 収益によるもの。本年5月の株主総会で決定され、150万円の配当となる。

答 住宅借入等の特別税額控除の実施に伴う減収補てん措置として実績を踏まえ交付される。

問 個人住民税の減少補てん特例交付金は何に対する補てんか。

令和3年度 一般会計決算の意見（抜粋）

【審査の対象】

令和3年度の一般会計及び特別会計（7会計）の歳入歳出決算と、公営企業会計である病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算について審査した。

審査事項の主な内容とその意見については、以下のとおりである。

【決算の規模】

一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入総額142億7853万1千円、前年度比0.7%の減、歳出総額138億4494万9千円、前年度比0.6%の減であった。

また、病院事業会計は、事業収益が前年度比9.9%の減、事業費用が前年度比9.9%の減となり、水道事業会計は、事業収益が前年度比0.9%の増、事業費用が前年度比3.4%の増となり、公営企業会計へ移行した下水道事業会計は、事業収益が6億5435万2千円、事業費用が7億2002万4千円となった。

【町 債】

将来にわたって財政の負担となる町債は、前年度末と比べて一般会計が8530万円の増となった。一般単独事業債等各種事業債は減少しているものの、過疎対策事業債が増加となった。

【基 金】

財政調整基金に3億9970万7千円、教育施設整備等基金に1億161万9千円を積み立てた一方で、

監査委員 佐 賀 要 一
監査委員 五十嵐 ミエ子

令和4年度軽自動車税（種別割）

車両区分			税額（年額）		
			平成27年3月31日までに新規登録をした車両（旧税率）	平成27年4月1日以降に新規登録をした車両（新税率）	新規登録から13年を経過した車両（重課税率）
四輪以上	乗用	営業用	5,500 円	6,900 円	8,200 円
		自家用	7,200 円	10,800 円	12,900 円
	貨物	営業用	3,000 円	3,800 円	4,500 円
		自家用	4,000 円	5,000 円	6,000 円



7月に開業から5年8か月で来場者500万人となった道の駅猪苗代

令和4年度補正予算のつづき

歳出

《民生費》

問 放課後児童対策費で、千里・翁島・緑児童クラブ改築工事基本設計委託とは。

答 小学校統合に伴い、千里小の学校敷地内に3つの児童クラブを受け入れる建物を建てたい。

問 ハザードマップで千里小一帯は浸水区域になっているが、なんの措置もせず児童を預かる施設を作るという町の考え方は。

答 建物の基本設計については、床高を高くするなど十分検討する。

《商工費》

問 風評被害対策費の委託料1616万8千円の増額の内容は。

答 教育旅行支援金事業で、バス290台分、旅行会社手数料85校分増となる。

《土木費》

問 道路除雪費の増額の要因は。

答 資材高騰及び労務費等も高騰しており全体的に事業費が増大している現状である。

問 民間委託と町直営の考え方は。

答 経費は抑えられるので直営で実施するのが町と考えである。新規募集もしているが新たなオペレーターも入っていない状況であるため、待遇改善等も検討している。

《教育費》

問 統合小学校整備事業費、基本設計委託料は、なぜ今なのか。

答 猪苗代小厨房機器等の更新と給食室エアコン整備、千里小のパソコン室や多目的教室を普通教室に改修するための工事設計。統合後は吾妻小給食室を

使用する。吾妻小給食室の機器更新のための実施設計業務委託である。

反対討論！

【関沢 和人】

統合小学校予算は、予算化する前に議会等への説明がなされて当然。意見交換の場を設けるべきである。統合関係予算に限り、反対。

反対討論！

【瀧田 勝昭】

千里小付近はハザードマップで浸水想定区域に指定されている。場所の検討を含め全てゼロベースでやり直さない限りは承服できない。あくまでも人命尊重である。

議案の審議

「総合体育館照明等長寿命命化改修工事請負契約」

（照明設備及び自動火災報知設備改修）

町都市公園長寿命化計画に基づき改修する。
契約金額7458万円、工期は令和5年3月17日。



LED照明に変わるカメラーナ

「財産の取得について」（除雪ドーザー）

契約金額2340万円、納入期限は令和5年11月27日。

「猪苗代町過疎地域持続的発展計画の一部変更について」

令和2年国勢調査結果の確定に伴う、人口等の修正及び多機能型道の駅施設整備事業、猪苗代町体験交流館改修工事を追加、統合中学校開校に伴う文言の修正、小学校統合事業に伴う給食室改修工事を追加するもの。

反対討論！

【五十嵐 ミエ子】

小学校統廃合は、小規模学校を重点的に、教育条件の整備をしていくことが重要であるので反対。



14トン除雪ドーザー

民生費・教育費に対する修正案提出！

提出議員・関沢和人・佐藤悦夫

「令和4年度一般会計補正予算（第3号）に対する修正案」

民生費は、千里・翁島・緑児童クラブ改築工事基本設計委託料を0円に、教育費は、事務局費のうち統合小学校整備に係る積立金1億円減、統合小学校整備事業費を0円に削減修正。収入はその削減分について財政調整基金繰入金を増額するもの。

修正案に賛成！

【瀧田 勝昭】

住民を含めた委員会等でも反対意見、少数意見に対応していない。また、ハザードマップで千里小は浸水区域である。非常に危険な地震と同時に水害についてもいつ起きるかわからない。地震のみという立場の町の姿勢に疑問を感じる。また、小学校区は長年、町の行政地区と同じ形態。その変更は大きな行政の変更である。

修正案に賛成！

【五十嵐 ミエ子】

コロナ禍のもと子供の命と安全を守れる小規模校はその価値が見直されており、小さな学校の存在が評価されている。学校は地域の宝であり地域は学校の宝である。現在の小学校を存続し、みんなで地域を支えていくことが大事。大規模が子供たちや地域にとって適切なのか考えるべき。

修正案賛成4名で、否決

修正案に反対！

【長澤 操】

子供のため教育環境を最優先とする視点が求められる。問題があれば今後の開校準備委員会等で検討していただければよい。

原案に賛成！

【渡部 一登】

統合小学校は、教育施設適正配置等推進委員会や各保護者・各地区でも2校案で賛成。耐震化が図られていない学校では心配である。今、子供たちを、早く安全安心な場所で学んでもらいたい。

修正案に反対！

【金本 久美子】

各PTAや地区代表、副議長など議会代表による教育施設適正配置等推進委員会は平成25年から議論し、8月に提言書が出された。この提言書に基づき、統合に向け、町民の合意形成を図り進めていただきたい。

令和4年8月発生豪雨
災害復旧事業補正予算

一般会計

《農林水産業費》

林業施設災害復旧費の財源として、森林環境譲与税を活用するため、積立金を396万6千円減額。

《災害復旧費》

○林道北沢線路肩補修工事
他3件の工事請負費393万6千円を計上。
○木地小屋川筋護岸補修工事
他3件の工事請負費360万円を計上。

○町道市沢蒲谷地線第2号橋の測量設計業務及び発注者支援業務委託料6100万円を計上。

○中津川レストハウス排水管布設替の工事請負費119万4千円を計上。

長瀬地区財産区特別会計

《財産費》

吾妻山（財産区直営地）の作業道補修の工事請負費220万2千円。



林道北沢線

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤悦夫	佐瀬真	佐藤英一郎	金本久美子	五十嵐ミエ子	後藤公男	関沢和人	長澤操	渡辺真一郎	
令和4年度猪苗代町一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	議	否決
令和4年度猪苗代町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	議	可決
猪苗代町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	議	可決
猪苗代町教育委員会の教育長任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○	×	○	議	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成：「○」、反対：「×」、議長「議」、欠席：「欠」、除斥：「除」、棄権「棄」、議場に不在「—」／同数の場合には議長が採決に加わる。

あなたの声を審議しました

9月定例会で審議された「陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件名	紹介議員	付託委員会	審議結果
	陳情者の氏名			
陳情第1号	現猪苗代町クロスカントリーコースに関する陳情		文教厚生 常任委員会	継続審査
	福島県スキー連盟 会長 玉川 武			

猪苗代町教育委員会委員の同意

「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」

鈴木兵市氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和8年9月30日まで。



鈴木 兵市 氏
(西久保)

猪苗代町教育委員会教育長の同意

「猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて」

宇南山忠明氏を適任と認め、同意しました。任期は令和7年9月30日まで。



宇南山 忠明 氏
(島田)

人権擁護委員候補者の推薦について意見が求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、熊谷喜一氏を推薦することに意義がない旨、答申した。任期は令和5年1月1日から令和7年12月31日まで。



熊谷 喜一 氏
(酸川野)

猪苗代町農業委員会委員の同意

「猪苗代町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」

安達寿人氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和5年7月19日まで。



安達 寿人 氏
(打越)

※人権擁護委員は、町が、議会の意見を聞いたうえで法務局に推薦し、法務局は弁護士会等の意見を求め検討し、法務大臣が委嘱します。

会津若松地方広域市町村圏整備組合

令和4年8月議会定例会

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会が8月16日から24日に行われた。
条例の一部改正や令和4年度補正予算、令和3年度決算の認定など、12議案が上程され、全て原案どおり可決された。
令和4年度一般会計補正予算では、ごみ処理施設運転管理業務委託について債務負担行為を設定するとともに、歳出において新ごみ焼却施設整備に係る電源接続案件一括検討プロセス工事費負担金を計上するなど、歳入歳出4億5210万円を増額し、89億4775万円となった。
また、会津美里消防署の新築移転に伴い、整備組合消防機関設置条例の一部が改正された。



磐梯町更科に完成した沼平第3最終処分場
(埋立容量：152,000㎡)

東京電力福島第一原子力発電所 視察研修

去る7月14日、福島第一原子力発電所の視察を実施した。
今では、防護服無しで構内をバスで移動でき、各施設の視察、説明を聞くことができた。
事故から10年以上が経過し、廃炉作業は着実に進展、周辺海域や周辺大気への影響も大きく改善されているとのことであった。
廃炉作業は燃料デブリの取り出しが最も困難で、国内外の英知を集め進めている。地域の人や環境へのリスクを低減するための作業で、2051年までの終了を目標に進めている。
溜まり続ける汚染水は、政府は2021年4月に、ALPS処理水の海洋放出を行う方針を決定した。ALPS処理水とは、汚染水から放射性物質を除去したものであり、安全性を確保するため、処理水を含む海水の水槽でヒラメの飼育練習を開始したとのこと。
現在の作業人数は、協力企業を含め、平日1日当たり3,550人で、地元雇用率は約70%とのこと。
いまだ避難者が3万人以上、災害賠償が続く中で、廃炉作業の現場を視察し、10年以上経過したにも関わらず、作業の進捗があまり見られず、困難さを強く感じた。



既設多核種除去設備（既設ALPS）



※猪苗代町議会は、令和2年9月『福島県の漁業と漁業関係者の生活を守るために東京電力福島第一原発敷地内に保管されているトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する意見書』を国や県に提出しています。

臨時会

(7月15日)

あらまし

令和4年第5回臨時会は7月15日開催され、専決処分の報告1件、4年度補正予算1件、条例の制定1件、条例の一部改正1件、財産の取得1件であり、すべて原案のとおり、全会一致で承認・可決しました。

【審議した主な議案】

令和4年度

一般会計補正予算

コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰を受けた生活者・事業者支援のため交付金・事業費を計上。

財源として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫補助金)」を8967万1千円、財政調整基金繰入金を1億829万6千円計上、歳入歳出それぞれ1億9796万7千円を追加する。

《総務費》

『地域公共交通経営支援』

町内交通事業者3社への影響を緩和するための予算1549万4千円を計上。

◎交付金額…バス10万円/台
タクシー7万円/台

《民生費》

『非課税世帯支援』

非課税世帯を支援するための予算3250万2千円を計上。

◎給付金額…2万円/世帯

『子育て世帯支援』

18歳未満の児童等を養育する世帯を支援するための予算3793万1千円を計上。

◎給付金額…2万円/人

《農林水産業費》

『農業者支援』

出荷・販売を目的とする土地利用型作物・園芸作物・畜産を支援するための予算5800万円を計上。

◎交付金額…
・土地利用型作物(米・麦・そば・大豆・飼料作物) 2千円/10a
・園芸作物5千円/10a
・畜産(牛)5千円/1頭

問 交付金の積算根拠は。
答 農林水産省公表の農業物価指数、農産物物価指数を基に作物毎の上昇率を算出した。

《商工費》

『町内宿泊施設利用助成事業(町民割)』

町内旅行代理店が設定した宿泊プラン等を利用した支払代金の50%を助成するための予算3990万円を計上。

◎概要…支払額の50%を助成(上限額は宿泊1万円・日帰り5千円)

問 町内で爆発的な感染があった際の運用は。

答 感染対策をしながら経済対策も講じていく。最終判断は利用者の判断にならざるを得ない。

※使用期間・申込期間等の詳細は、町から業務委託を受ける事業者からのお知らせを確認してください。

『電子クーポン発行事業』

町内宿泊施設等で利用できるプレミアム付き電子クーポン発行のための予算2523万円を計上。

◎概要…1セット3千円分使用可能なプレミアム付き電子クーポンを2千円で販売。1人上限3セットまで

◎利用対象者…町内外者

問 電子にするメリットは。

答 感染対策と、町外の観光客を呼び込むことができる。

※使用期間・申込期間等の詳細は、町から業務委託を受ける事業者からのお知らせを確認してください。



町内事業者支援「町民割」
(※令和3年の町民割パンフレット)

猪苗代町空家等対策協議会設置条例」制定

適切な管理が行われていない空き家等がもたらす問題の解決に向け、協議会を設置するための条例を制定。

問 適切な管理が行われていない空き家対策に特化した協議会と捉えてよいか。

答 特定空家、いわゆる危険空き家の対応と空き家の利活用を協議する総合的な対策の議論をするために設置する。

問 指導や勧告、命令を視野に入れた協議会か。

答 空家対策特別措置法により、その対策が可能であるので、勧告・命令、最終的には代執行等も視野に入れ協議をしてまいりたい。

問 法の成立は平成26年度であるが、今まで法定協議会を設置しなかった理由は。

答 国が補助事業を一本化するなかで、補助要件に協議会の設立があったため。

「財産の取得について」

老朽化する中学校通学用マイクロバス1台を更新する。
取得金額841万5千円、納入期限を令和5年3月28日とする。

問 財源は。

答 中学校統合事業として、国補助金375万円を活用する。



請願・陳情の手続き

「どうやって出すの？」

- 1 提出年月日
 - 2 請願者・陳情者の住所
 - 3 請願者・陳情者の氏名(法人の場合は「名称」「代表者氏名」)
 - 4 請願者・陳情者の電話番号
 - 5 紹介議員名(請願のみ)
 - 6 請願・陳情の趣旨を記載し、議長宛に提出。
- ※必要に応じて現場の案内図、現写真、意見書(案)などを添付

「どのように取り扱われるの？」

- 1 原則として、左記のとおり取り扱われます。
- 2 1 定例会で審議されます。必要がある場合は、請願者・陳情者立ち合いのうえ現地調査を行います。
- 2 定例会は3、6、9、12月に開催され、第1火曜日に開会予定です。開会日は議会だよりや広報猪苗代、ホームページでお知らせします。
- 3 開会中に受理した請願・陳情は、緊急のものを除いて、次回の定例会で審議されます。

「請願書・陳情書の記載例」

「陳情書の記載例」



一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

星野 あけみ ……⑫
女性特有のがん検診

後藤 公男 ……⑬
自然災害への対応と防止対策

佐瀬 真 ……⑭
会津北部豪雨災害の対策

瀧田 勝昭 ……⑮
ごみ減量への取り組み

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。

本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

町のホームページでは、一般質問の録画映像を配信しています。

※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。



ほしの
星野 あけみ

Q. 女性特有のがん検診の現状は

A. 過去3年の推移で受診率は上がっていない

【質問】受診率の推移は。

【保健福祉課長】乳がん検診は令和元年度27%、2年度25・3%、3年度27%で、子宮がん検診は元年度26・9%、2年度25・4%、3年度24・4%である。

【質問】分析は。

【保健福祉課長】町健康増進計画で4年度の目標値を乳がん検診30%、子宮がん検診40%と定めている。目標値には届いていない。

【質問】受診率が上がらない現状に対する認識は。

【保健福祉課長】「まだ若いから」「以前受けて異常がなかった」「要精密検査と判定されるのが怖い」との背景がある。

早期発見・早期治療が非常に重要である。受診機会を多く設け、より多くの方に受診していただけるよう周知している。



若い世代の健康を守るために検診を

【質問】受診率向上への取り組みは。

【保健福祉課長】乳がん検診40歳、子宮がん検診20歳に無料クーポン券を配布して受診のきっかけづくりをしている。

【質問】乳がん検診は電話での申し込みである。つながらない、との声もあるが。

【保健福祉課長】検査内容により年代別、人数枠を設けて予約を受け付けている。予約日以降も電話やメールで予約ができる。

Q. 個別避難計画の策定は

A. 災害対策基本法で努力義務だが作っていない

【質問】乳がん・子宮がん検診日を一日にできないか。

【保健福祉課長】検診実施日は、検診バスの配車日程により調整している。受診率の向上へ委託先と協議したい。

【質問】子宮がん検診の簡易検査キットを無料配布する考えは。

【保健福祉課長】簡易検査キットの導入は、若い世代へのがん予防と検診受診のきっかけづくりにつながる。近隣市町村の状況も見ながら研究する。

【質問】今後の見通しは。

【総務課長】個別避難計画は自ら避難が困難な方の避難時における支援者や避難場所、支援における留意点を個別に策定し、町や避難支援者と関係者で共有するもの。防災係と福祉課で連携し、今年度中に計画策定に取り組む。

【質問】地域や自主防災組織との連携や情報共有の考えは。

【保健福祉課長】災害時には計画に基づいて、地域や自主防災組織と情報を共有し、声かけや安否確認等、速やかに避難ができるよう協力をお願いしたい。

【質問】被害を受けた箇所の復旧状況は。

【建設課長】町管理路線は、市沢蒲谷地線、湯川端白糸の滝線、猪苗代スキー場磐根線、昭和の森線の4路線、県管理路線は、通称レークラインが通行止めになった。その後スキー場線、昭和の森線は補修し通れるが、残る2線は復旧作業を進めている。レークラインは令和6年度にずれ込む状況である。

【質問】町内で土砂崩れなど心配される箇所の点検は。

【建設課長】県の調査で、土石流が54箇所、急傾斜地の崩壊が17箇所、地滑りが1箇所土砂災害危険区域に指定されている。ハザードマップに掲載し、全戸配布して周知している。また、急傾斜地崩壊危険区域の防護施設6か所を年1回点検している。

【質問】令和4年度の学力テストの結果をどのように分析し、取り組むのか。

【教育総務課長】主体的、対話的で深い学びになるよう改善を進めている。また、基礎的、基本的から、発展的な問題に挑戦させるよう指導する。東京学芸大学と連携し、授業研究会での指導助言により授業の改善に努めている。

【質問】授業についていけない児童や学校に行けない生徒の現状と対応は。

【教育総務課長】特別支援員として、中学校2名、猪小3名、翁島、千里吾妻2名、緑、長瀬は1名配置して支援している。不登校は、1学期末で、小学生2名、中学生8名である。学校生活に変化があれば、話を聞き保護者を含め、早めに対応する。中学校では不登校傾向にある生徒に対し、オンライン授業や先生が相談に乗るなどの、指導を行っている。

Q. 8月3、4日の豪雨の対応は

A. 避難所を開設し町職員が誘導した



市沢蒲谷地線の小倉川第2号橋梁

【質問】避難指示の対象と、開設した避難所は。

【総務課長】対象地区は、市沢、達沢、沼尻駅前、中ノ沢、高森、蒲谷地、金堀、沼尻温泉の8地区である。中ノ沢体育館に9世帯23名、農村環境改善センターに2世帯2名が避難した。他に打越地区の集会所に2世帯2名が自主避難し、8月4日の17時に避難指示を解除した。



ごとう
後藤 きみお
公男



タブレット端末を使用した数学の授業

Q. 児童、生徒の学力向上の方針は

A. 授業研究会で授業の改善に努めている



佐瀬 真
さ せ ま こと

Q. 公営住宅の水道基本料の格差は直せないのか

A. 調査研究して検討したい

【質問】水道漏水時の復旧工事費用負担は。

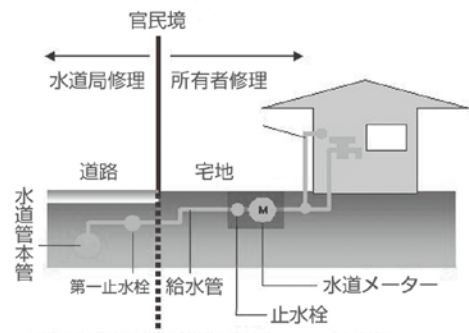
【上下水道課長】水道メーターより外側でも土地所有者負担となる。

【質問】近隣2市は水道メーターを工事費用負担の境界としているが近隣町村は。

【上下水道課長】磐梯町は土地所有者、北塩原村は止水栓、西会津町は水道メーターまでとなっている。

【質問】町内の公営集合住宅では接続管径で基本料金に格差が出ている。入居者は口径を選べないし付け替え工事も出来ないが、便宜を図るべきではないか。

【上下水道課長】上ノ上住宅だけが20ミリ、その他の町営住宅は13ミリ。他の市町村の公営住宅の口径による基本料の格差を解消する方法などについて調査研究して検討したい。



【質問】11条検査とメンテナンスを同じ業者が出来ない本町では、会津若松市の行っている個別排水事業(※)も効率的では。

(※)個別排水事業とは
町が事業主となって1戸に1基ずつ合併処理浄化槽を設置し、使用料金をいただきながら施設の管理も町が行う事業。会津若松市、西会津町で実施中。

水道漏水時の修理費用負担

Q. 今回の豪雨災害の被害実態の調査は

A. 各区長に被害状況を確認して報告をいただく

【質問】秋元湖の水位管理はどこが受け持っているのか。

【総務課長】水位の管理は東京電力である。

【質問】秋元湖の放水時に発生した被害については補償はされないのか。

【総務課長】東京電力の賠償については考えられないものと認識している。

【質問】避難指示、自主避難の方がおられたが、避難所開設へのコロナ対策として購入した物品の活用は。

【総務課長】基本的な感染対策の消毒液のほか、テントや簡易ベッドを持ち込み避難所開設に対応した。



8月3日まだ明るい時間の秋元湖



粗大ごみに出される商品プラ

【質問】ごみ減量、環境保全の意識がある方を対象に、リーダーを養成する取組は。

【町民生活課長】減量化について、様々な方法を検討し取り組んでいる。地域や家庭のリーダーは必要な存在と認識している。リーダー育成として、講座の開設など、減量の推移を見据えながら検討したい。

Q. 地区、行政区の課題の把握は

A. 新しい情報を得て、適宜遺漏なく対応したい

【質問】人口減少で小学校統合を想定しているのに、2万人いた当時の行政組織と同じことをいつまで続けるのか。町が地区行政区の課題を積極的に把握し、積極的に住民に働きかけ、住民の意思によってその意思をサポート、援助していくことを町としてやるべきでは。

【町長】合併して6地区が一体となりその形態のままである。これを再編成して、また新たな行政区、統廃合ということになると、住民意識の考えもあり、十二分に各地区の皆さんと相談をしながら、これを前向きに検討してまいりたい。



たき た 瀧田
かつあき 勝昭

Q. いつでもごみを持ち込める施設の検討は

A. 町民の皆さんと検討していくことと認識している

【質問】ごみ排出量の現状は。

【町民生活課長】環境省の令和2年度ごみ排出量等調査では、1人1日当たりの排出量は117.2グラムで、全国の90.1グラムを上回り、県内8番目に多い。リサイクル率は17%、前年度を2%上回り、県内上位10番目である。

【質問】ごみ減量の意義の住民との共有の現状は。

【町民生活課長】「みんなで目指そう!ごみ減量3Rの実践について」の出前講座を実施。今年度は、3地区で開催、9月に1地区で予定がある。ごみ出しの方法などを質問形式で行っている。



小型家電・古着類のイベント回収

委員会レポート

町税の不納欠損処分

【概要】

不納欠損とは、歳入の徴収ができない場合の取り扱いである。収納の見込みがないものに対し督促を続けることは事務効率化の阻害や財政状況の正確な把握を妨げることになるため、不納欠損処分が必要になっている。

対策としては、収納システムによって常に点検を行い、履行期間までに納付されないときは法令に基づいて書面による督促、催告を行うとともに納付の折衝や相談を実施している。

令和3年度における不納欠損処分は176件、196万7千3605円である。大半を占めているのが固定資産税である。令和3年度の収納率は96.47%で前年度より2.94%増えている。コロナ禍のため訪問が困難な状況となったが、電話催告により自主納付を促したほか、債権差押等の滞納処分を行い、収納率の向上に努めている。

【意見】

税金は、行政サービスを提供するための重要な自主財源である。そのため、納税されている多数の納税者に対して不信感や

不公平感を与えることのないよう、財産調査など欠損対象者の税を負担する能力を客観的に判断し適正に処理していただきたい。

また固定資産税の不納欠損額が多い背景には、所有者が亡くなられ相続放棄等で生じてしまうケースが多く、対策が必要と考える。

訪問徴収については、コロナ禍ではあるが、徴収機会を増やすことで以前の水準をそれ以上を目指していただきたい。

収納については、今後QRコードでの支払いも可能になるようであるが、他自治体の例を参考に、いろいろな形で収納できるように仕組みを作り、不納欠損にならないように努めていただきたい。



納税は義務です

上下水道の管理運営

【概要】

町には19の配水池があり、その多くは消毒処理で済む非常に良質な水を供給している。

令和3年度の経常収支比率は健全経営の水準である100%を上回っているが、料金回収率は97.1%で、事業費用を給水収益で賄えると言われる100%を下回った。

総延長251キロメートルに及ぶ管路は老朽化が進んでおり、更新基準に達する管路の更新費用確保が課題である。

下水道事業は、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業あわせて8つの施設で汚水の処理を行っている。

令和3年度の経常収支比率は100%を下回ったが、料金回収率は100.7%で汚水処理費分は使用料で賄えている。一方、施設の維持管理は一般会計からの負担金や企業債に頼っており、使用料に対する企業債残高比率は年々高くなっている。また、処理施設の老朽化も進んでおり、今後、施設の統廃合も検討し、経営の安定化に努めていかなければならない。

【意見】

老朽化等による給水管の入れ替えは計画的に実施していく必要があり、速やかに進めていただきたい。

人口減少による給水収益の減少が見込まれる中で、管の入れ替えをしながら収支の均衡を図るのは容易なことではないが、安心・安全な水の安定的供給のため、段階的な料金の見直し等も視野に入れ、健全な事業運営に努めていただきたい。

昨年度から公営企業会計に移行した下水道事業は、更なる接続率向上や事業区域の見直しなどを積極的に進め、一般会計からの負担金や企業債を圧縮し、独立採算による事業運営に向け、努力をいただきたい。



給水管の入れ替え工事

経済建設常任委員会

総務常任委員会

史跡等歴史文化の保存・継承

〔北塩原村〕

(1)国指定史跡柏木城

一五〇〇年代半ば、蘆名氏と伊達氏は互い勢力を拮抗させており、北塩原村周辺は係争が起ころしやすい地域であった。柏木城は蘆名氏が伊達氏からの防衛のために整備したとされる。伊達氏は、狭い米沢路にある柏木城の存在により攻め入ることが困難であると判断、松原側から攻め入ることはなかった。その後、会津をおさめた伊達・蒲生・上杉家は米沢も同時に支配したため、境目の城という機能がなくなり、非常に限定された年代に機能した城である。

また、蘆名家から城番が派遣されており、直営の城であると解され、他の城との性格が異なっていると考えられる。

江戸時代の後も土地の利用がなく、遺構の残りがよいのも特徴。戦国時代末期の東北地方では一つの指標となる城郭として代表的であることが、国史跡に結び付く歴史的価値があると捉えている。

(2)国指定までの経過

平成26年度から6年間、国庫補助事業として発掘調査を行い、文化審議会答申を経て、本年3月に国指定史跡となった。県や文化庁の調査官から、国史跡になるものであるといった意

見があったため、県指定を経ず、国指定に向け動いていた。

【意見】

本町亀ヶ城の石垣修繕には相当な費用がかかることから、国指定にという話であり、そのために学芸員が必要であるということであった。

柏木城は、亀ヶ城のように町の中心として利用されていた史跡と違い、限られた年代だけで使われていた特殊性から、比較するのは難しいと感じた。

国指定となった場合、指定後の体制が重要で、外から学識経験者も引き入れ、相当数ある当町の歴史文化をどのように生かしていくのか計画を策定し、また、国指定に向けた委員会を立ち上げるなど、積極的に取り組むことが重要である。



学芸員（北塩原村職員）による説明

議長杯ソフトボール大会



優勝：エルフレンズ / 準優勝：Hボンバー

議長杯グラウンドゴルフ大会



男子優勝：渡部和吉さん/女子優勝：桜田モトさん

議長杯が開催!!

天候にめぐまれ開催されました。各競技とも熱い戦いがくりひろげられました。優勝者・優勝チームの皆さん、おめでとうございます。

議長杯ゲートボール大会



優勝：民男チーム/準優勝：英美チーム

中ノ沢こけし祭り開催

9月11日たこ坊主誕生100周年を祝い開催されました。工人の技を楽しむに県内外より850名を超える方が訪れ、賑わっており、たこ坊主のすばらしさを再確認しました。





わたしたちの町



「私の考える 猪苗代町の未来」

やまうち りょうが
山内 鈴雅 さん
(翁島小6年)

181人。この数字は昭和53年、今から45年前の翁島小学校の全校児童数です。現在の全校児童数は、74名。45年前と比べて100人以上減少しています。これは、人口減少による結果です。この状態が続くと、ゆくゆくは猪苗代町が消滅してしまうのではないかと私は不安に感じました。磐梯山に猪苗代湖、観音寺川の桜。猪苗代町は自然豊かな町です。人口は少なくなっています。が、毎年、この美しい自

然を求めてたくさんの方々が猪苗代町を訪れます。私はそういった人たちが今後もどんどん増えてほしいと願っています。私は将来この町で働き、新たな観光地を生み出したいと考えています。そして、町に住む人を一人でも増やしたいと思っています。皆さんもこの猪苗代町の活性化のために、町の魅力をたくさんの人に伝えていってください。

野口体育祭は、他の小学校の人たちと真剣勝負ができる貴重な機会です。町の五・六年生一人一人が目標に向かって必死に頑張るこの大会は、とても素晴らしい町の行事だと思っています。今年の大会で、私は百メートルと走り高跳びとリレーの三種目に出場し、全ての種目で優勝することができました。中でも走り高跳びは、大会新記録を出しての優勝だったので、とてもうれしかったです。このよう

な結果を残すことができたのは、一緒に練習を頑張った仲間や、熱心に指導してくださった先生方、そしてたくさんの方々の応援のおかげです。野口体育祭のような数々の感動が生まれる素晴らしい大会は、いつまでも続いてほしいと思います。

「野口体育祭に 出場して」

のぐち やまと
野口 大和 さん
(長瀬小6年)



傍聴においで下さい

**12月議会は
12月6日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日:12日(月)・13日(火)】

※質問者・質問内容については12月1日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

雨の中、野口体育祭が開催されました。大会新記録が4種目もでるなどの活躍が見られました。選手のみなさんお疲れ様でした。



今号の表紙

令和元年度以来の町総合防災訓練が実施され、避難所開設訓練では、感染症対策として、テント設営も行われました。



編集後記

令和元年10月に福島県を直撃し、当町にも大きな被害をもたらした令和元年東日本台風の襲来から早いもので3年の月日が経ち、今年8月3日に会津地方を襲った記録的大雨では当町に於いても甚大な被害が確認されました▼近年の自然災害は『想定以上』と言われる災害が広範囲に発生し、特別警報発令時の『自身の命を守る行動を』という呼びかけも、近頃はテレビやラジオから聞く機会も多くなってきたように感じています▼広範囲に及ぶ災害発生時には被害の全体像の把握が難しく、情報の伝達が困難になることも想定され、自分で自分の身を守る『自助』家族や隣近所で助け合う『共助』が大切であると言われていました▼災害から身を守るには日頃の備えもとても大切です。自宅や身近な場所の危険箇所、ハザードマップの確認や非常持ち出し品の準備など、災害にどう備えるのかを再確認してみたいかがでしょうか。

鈴木 元

議会広報編集特別委員会

委員長 長澤 操
副委員長 大高佐代美
委員 鈴木 元
委員 星野あけみ
委員 渡部 一登
委員 龍田 勝昭
議長 渡辺真一郎